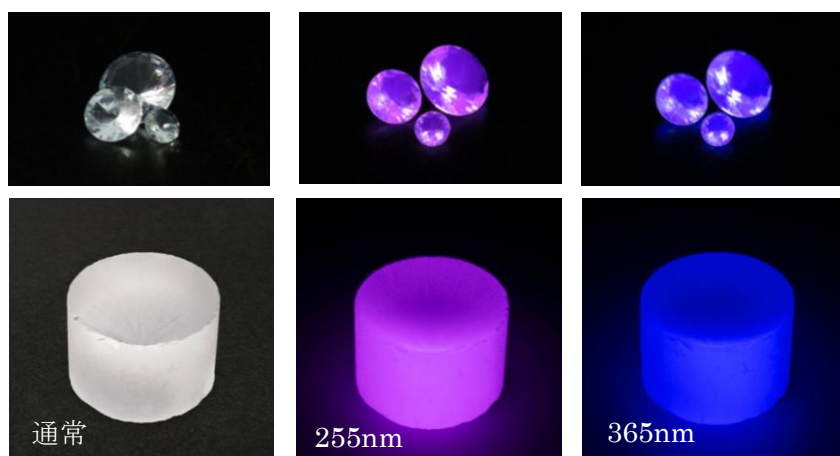


**光源により変色する新しい蛍光材料を開発
無機材料であることから高い耐久性を実現**

キャノンオプトロン株式会社(本社:茨城県結城市鹿窪 1744-1)は、照射する光の波長によって色が変わる新たな蛍光*材料“FLUOBRIGHT+”(フローブライトプラス)の開発に成功し、5月上旬より発売を開始します。一般的な UV(紫外線)光の波長である 365nm 前後と、殺菌などに使用される 255nm 前後の照射により、それぞれ異なる色に発光します。さらに、無機材料であることから長時間 UV 光で照射しても発光強度や彩度が変わらないため、幅広い用途での使用が期待できます。



照射する光の波長により変色する様子

今回新たに開発した蛍光材料は、CaF₂(蛍石)を主原料とする変色蛍光材料“FLUOBRIGHT+”です。単一材料ながら UV 光の 365nm 前後と 255nm 前後の異なる波長の光を照射すると、それぞれ異なる色に強く発光するという特徴を有しています。さらに、無機材料であることから有機系の蛍光材料のように長時間の UV 光照射による発光強度の低下や彩度の変化が少ないため、従来では使用困難だったさまざまなシーンにおける使用が可能です。

蛍石は天然に存在する鉱物のため、環境への負荷が少なく、取り扱いも安全です。今回開発した蛍光材料は固体の結晶であることから、プロセスや用途に合わせてブロック状に加工したり、粉末状にして材料に混ぜ込むことが可能です。さらに、新開発の蛍光材料は透明性が高いことから、模造品防止効果を付加した装飾品として、また UV 光照射装置の照射範囲や照射波長の確認用途としてなど、さまざまな製品への活用を見込んでいます。

新開発材料名	発売日
FLUOBRIGHT ⁺	2017年5月上旬

※ 発光現象の一つで、紫外線などの光の刺激を受けて発光すること。

● 報道関係者のお問い合わせ先 : キャノンオプトロン株式会社 企画部 0296-21-3750 (代表)

● キャノンオプトロンホームページ : <https://www.canon-optron.co.jp/>